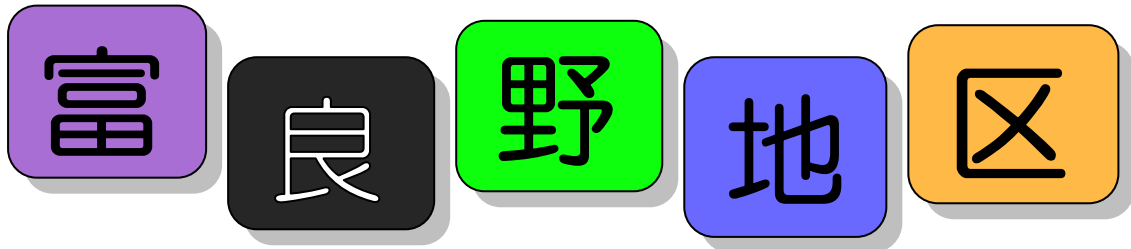


案

第2次



定住自立圏共生ビジョン

平成31年度～平成35年度
(2019年度～2023年度)

平成31年 3月 策定

北海道富良野市

目 次

第1章 定住自立圏共生ビジョンの作成にあたって

1 定住自立圏構想の概要とこれまでの取り組み	1
2 定住自立圏の名称及び構成市町村	1
3 定住自立圏共生ビジョンの目的	1
4 定住自立圏共生ビジョンの期間	1

第2章 圏域の概況

1 圏域市町村の概況	2
2 人口等の推移	5
3 産業別就業者数の推移	7
4 観光入込客数	8
5 都市機能の利用状況	9
6 都市機能の集積状況	10

第3章 圏域の将来像

第4章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取り組み

1 共生ビジョンの体系	15
2 具体的な事業と内容	19
3 基本目標と成果指標	56

資 料

- I) 富良野地区定住自立圏共生ビジョン策定経過
 - II) 富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱
 - III) 富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿
-

第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

1 定住自立圏の概要とこれまでの取り組み

定住自立圏構想は、圏域の中心的な役割を担う中心市と近隣市町村が、相互に役割分担して連携・協力することにより、地域の持つ様々な資源と地域力を高め、圏域全体が魅力あふれる地域づくりと安全で安心して暮らせる地域社会を形成することを目的とした自治体連携の取り組みで、定住自立圏構想推進要綱（総務省）により平成21年度にスタートしました。

総務省は、その後、同要綱を平成25年3月に改正し、定住自立圏の一類型として「多自然型」を新設し、富良野市が中心市としての要件を満たすことになりました。

このことを受けて、富良野圏域では、定住自立圏構想の推進にあたっての情報収集・調査検討を行うとともに、定住自立圏の形成に向け準備を進めてきました。

富良野市は、平成25年9月4日、圏域における中心的な役割を担う意思を表明する「中心市宣言」を行い、その後、圏域町村と定住自立圏形成に関する取り組み内容等について協議を進めてきた結果、取組みに関する基本的な協議が整い、各市町村議会の議決を経て、同年12月25日、富良野市と圏域4町村それぞれとの間で、1対1の定住自立圏形成協定を締結しました。

平成26年度から平成30年度までの共生ビジョンでは、圏域で連携することができる事業について、具体的に示し、取り組みを進めてきました。その共生ビジョンの期間が終了したことから、第2次共生ビジョンでは、圏域人口の将来展望や基本目標、成果指標等を盛り込んだ新たな共生ビジョンを策定しました。

2 定住自立圏及び市町村の名称

(1) 定住自立圏の名称

富良野地区定住自立圏

(2) 定住自立圏を形成する市町村の名称

富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村

3 定住自立圏共生ビジョンの目的

本共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知）第6の規定により、本圏域の将来像や協定に基づき関係市町村が連携して推進していく具体的取組の内容を明らかにするものです。

4 定住自立圏共生ビジョンの期間

本共生ビジョンの期間は、平成31年度（2019年度）から平成35年度（2023年度）までの5年間とし、毎年度、所要の見直しを行います。

5 成果指標等の設定

本共生ビジョンの効果的な推進を図るため、成果指標等を設定し、毎年度、進捗状況を把握し、取り組みの検証を行います。



上富良野町

人口：10,826人
面積：237.10 km²

上富良野町は、北海道の中央、富良野盆地の北部に位置し、雄峰十勝岳を擁し、丘をかざるパッチワーク模様や色とりどりの花が織りなす自然の恵み豊かな四季彩のまちです。ラベンダー発祥のまちでもあり、夏には可憐な紫色の花を咲かせ、癒しのひとときを提供してくれます。基幹産業の農業とともに、養豚が盛んで道内有数の生産基地であり、かみふらのポークはブランド豚として知られています。「元祖豚サガリ!？」は絶品です。さらに、町民がともに支えあい、健康長寿のまちを目指して「健康づくり推進のまち」を宣言し、いつまでも健康で心豊かに、いきいきと暮らすことのできるまちづくりを進めています。

【町の見どころ・特産品】

- 日の出公園（ラベンダー）
- 日の出公園オートキャンプ場
- 四季折々の風景が楽しめる十勝岳
- 土の博物館 土の館（北海道遺産）
- 後藤純男美術館
- ラベンダー製品（オイル・石鹸 など）
- かみふらのポーク
（豚さがり・ハム・ソーセージ）
- 風景写真（かみふらの八景）
- ホップ



十勝岳連峰と“らべとん”



中富良野町

人口：5,069人
面積：108.65 km²

中富良野町と言えば「ラベンダー」で有名ですが、昭和51年に旧国鉄（現在のJR）のカレンダーに掲載されてから、ラベンダーが脚光を浴びるようになり全国的にその名が知られるようになりました。

町のシンボルである「北星山」からは、十勝岳連峰の大パノラマと田園風景の絶景を楽しむことができ、年間約110万人の観光客が本町を訪れます。また、春・夏・秋・冬、四季折々に多彩な色彩の変化とともに北海道の雄大さを十二分に堪能いただくことができます。

中富良野一体にラベンダーのやさしい香りが広がり、丘陵一面が美しい紫一色に染まる7月には「ラベンダーまつり&花火大会」が開催され、大小色とりどりの花火が夜空を華やかに彩り、夏の風物詩にもなっています。

また、氷点下25度にもなる極寒の2月には、「ウィンターフェスティバル」が開催され、真冬の寒さの中、元気いっぱい冬を楽しんでいます。

【町の見どころ・特産品】

- 町営ラベンダー園
- ファーム富田
- 彩香の里 佐々木ファーム
- ふれあい牧場 ひつじの丘
- 純米酒「法螺吹」
- なかふらのワイン
- 酒かすスイーツ
- ラベンダー製品
- チョコリーコーヒー・チョコリー玄米茶



町営ラベンダー園から十勝岳連峰を望む



南富良野町

人口：2,555人
面積：665.54 km²

南富良野町は、東西に貫流する空知川に沿って6つの集落から形成され、四方は山並に囲まれ、その大部分は自然のままの豊かな森林で占められています。町のほぼ中央部に金山ダムによってできた人造湖「かなやま湖」が豊かな水をたたえ、訪れる人に憩とやすらぎの時間を与えてくれます。

かなやま湖や空知川流域には絶滅危惧種の希少淡水魚「イトウ」が生息し、町では平成21年に全国で初となる「イトウ保護管理条例」を制定、保護と次代への継承に取り組んでいます。

また、かなやま湖や空知川はカヌー、ラフティングが盛んで、道内外から修学旅行生を中心とした観光客がアウトドアスポーツを楽しみ、冬季間には落合地区の「空知川スポーツリンクス」で、町民をはじめ多くの人たちがカーリングを楽しんでいます。

【町の見どころ・特産品】

- 幌舞駅 (JR 幾寅駅)
- かなやま湖
- かなやま湖ログホテルラーチ
- 狩勝峠展望台
- カヌー、ワカサギ釣り (かなやま湖)
- ラフティング (空知川)
- バタジャガ ○くまさ茶
- 鹿肉加工品 ○メロン
- コイケヤポテトチップス
- 南富良野エゾカツカレー



かなやま湖 (7月)



占冠村

人口：1,211人
面積：571.41 km²

上川管内の最南端に位置する占冠村。総面積は571.41平方キロメートル(東京23区とほぼ同じ大きさ)で、その約94%が山林です。上川管内の南富良野町、日高管内の日高町、平取町、胆振管内のむかわ町、空知管内の夕張市と隣接し、夏は富良野・美瑛観光の玄関口として賑わいを見せます。村内には、高速道路のICが2つ、JR北海道の特急停車駅も2つあり交通の要衝となっています。

雲海テラス、スキー場で有名な星野リゾート トマムのほか、ニニウキャンプ場、赤岩青巖峡のフリークライミング、占冠湯の沢温泉森の四季、鶴川のラフティング、氷点下30℃を下回る冬の寒さなど、まさに自然を体感できる村です。

【村の見どころ・特産品】

- 雲海テラス (星野リゾート トマム)
- 赤岩青巖峡 ○ニニウキャンプ場
- 占冠湯の沢温泉森の四季
- ラフティング (鶴川)
- クライミング (赤岩青巖峡)
- トマムスキー場、アイスヴィレッジ
- 木工製品 (しもかぶ工房)
- 鹿肉 (ジビエ工房森の恵み)
- 山菜 ○メロン
- 森の恵みしむかっぶ村鹿カレー



星野リゾート トマム 雲海テラス

2 人口等の推移

(1) 人口の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	増減(H27-H7)	
						増減	増減率
富良野市	26,046	26,112	25,076	24,259	22,936	△ 3,110	△ 11.94%
上富良野町	12,881	12,809	12,352	11,545	10,826	△ 2,055	△ 15.95%
中富良野町	5,931	5,833	5,707	5,477	5,069	△ 862	△ 14.53%
南富良野町	3,331	3,236	2,947	2,814	2,555	△ 776	△ 23.30%
占冠村	2,104	1,873	1,819	1,394	1,211	△ 893	△ 42.44%
合計	50,293	49,863	47,901	45,489	42,597	△ 7,696	△ 15.30%

[資料：各年国勢調査]

(2) 世帯数の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	増減(H27-H7)	
						増減	増減率
富良野市	9,310	9,914	9,989	10,074	9,929	619	6.65%
上富良野町	4,106	4,410	4,540	4,416	4,363	257	6.26%
中富良野町	1,810	1,986	2,035	2,015	2,025	215	11.88%
南富良野町	1,348	1,323	1,220	1,199	1,132	△ 216	△ 16.02%
占冠村	1,170	1,030	1,051	794	704	△ 466	△ 39.83%
合計	17,744	18,663	18,835	18,498	18,153	409	2.31%

[資料：各年国勢調査]

(3) 幼年人口 (15 歳未満) の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	増減 (H27-H7)	
						増減	増減率
富良野市	4,394 (16.9%)	4,067 (15.6%)	3,568 (14.2%)	3,155 (13.0%)	2,684 (11.7%)	△ 1,710	△ 38.92%
上富良野町	2,216 (17.2%)	2,000 (15.6%)	1,762 (14.3%)	1,639 (14.2%)	1,415 (13.1%)	△ 801	△ 36.14%
中富良野町	981 (16.5%)	899 (15.4%)	844 (14.8%)	772 (14.1%)	648 (12.8%)	△ 333	△ 33.94%
南富良野町	492 (14.8%)	452 (14.0%)	385 (13.1%)	324 (11.5%)	288 (11.3%)	△ 204	△ 41.46%
占冠村	282 (13.4%)	229 (12.2%)	205 (11.3%)	130 (9.3%)	116 (9.6%)	△ 166	△ 41.13%
合計	8,365 (16.6%)	7,647 (15.3%)	6,764 (14.1%)	6,020 (13.2%)	5,151 (12.1%)	△ 3,214	△ 38.42%

()は、構成比 [資料：各年国勢調査]

(4) 生産年齢人口 (15~64 歳未満) の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	増減 (H27-H7)	
						増減	増減率
富良野市	17,032 (65.4%)	16,480 (63.1%)	15,338 (61.2%)	14,591 (60.1%)	13,092 (57.1%)	△ 3,940	△ 23.13%
上富良野町	8,753 (68.0%)	8,424 (65.8%)	7,857 (63.6%)	6,970 (60.4%)	6,141 (56.7%)	△ 2,612	△ 29.84%
中富良野町	3,712 (62.6%)	3,513 (60.2%)	3,285 (57.6%)	3,096 (56.5%)	2,703 (53.3%)	△ 1,009	△ 27.18%
南富良野町	2,170 (65.1%)	2,004 (61.9%)	1,752 (59.5%)	1,637 (58.2%)	1,451 (56.8%)	△ 719	△ 33.13%
占冠村	1,588 (75.5%)	1,355 (72.3%)	1,299 (71.4%)	964 (69.2%)	770 (63.6%)	△ 818	△ 51.51%
合計	33,255 (66.1%)	31,776 (63.7%)	29,531 (61.7%)	27,258 (59.9%)	24,157 (56.7%)	△ 9,098	△ 27.36%

()は、構成比 [資料：各年国勢調査]

(5) 高齢人口 (65 歳以上) の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	増減 (H27-H7)	
						増減	増減率
富良野市	4,620 (17.7%)	5,565 (21.3%)	6,168 (24.6%)	6,512 (26.8%)	7,096 (30.9%)	2,476	53.59%
上富良野町	1,912 (14.8%)	2,385 (18.6%)	2,733 (22.1%)	2,936 (25.4%)	3,234 (29.9%)	1,322	69.14%
中富良野町	1,238 (20.9%)	1,421 (24.4%)	1,578 (27.7%)	1,609 (29.4%)	1,672 (33.0%)	434	35.06%
南富良野町	669 (20.1%)	779 (24.1%)	810 (27.5%)	853 (30.3%)	816 (31.9%)	147	21.97%
占冠村	234 (11.1%)	289 (15.4%)	315 (17.3%)	294 (21.1%)	311 (25.7%)	77	32.91%
合計	8,673 (17.2%)	10,439 (20.9%)	11,604 (24.2%)	12,204 (26.8%)	13,129 (30.8%)	4,456	51.38%

()は、構成比 [資料：各年国勢調査]

3 産業別就業者数の推移

(1) 第1次産業就業者数の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	増減(H27-H7)	
						増減	増減率
富良野市	3,692 (26.3%)	3,283 (23.9%)	2,818 (22.1%)	2,500 (20.4%)	2,401 (20.3%)	△ 1,291	△ 34.97%
上富良野町	1,571 (21.8%)	1,475 (21.0%)	1,337 (19.8%)	1,081 (18.1%)	975 (17.2%)	△ 596	△ 37.94%
中富良野町	1,674 (50.9%)	1,473 (46.2%)	1,338 (43.5%)	1,195 (42.7%)	972 (38.6%)	△ 702	△ 41.94%
南富良野町	558 (30.8%)	518 (31.0%)	374 (24.6%)	320 (22.9%)	257 (20.2%)	△ 301	△ 53.94%
占冠村	120 (8.8%)	91 (7.7%)	96 (8.2%)	76 (8.9%)	66 (8.9%)	△ 54	△ 45.00%
合計	7,615 (27.5%)	6,840 (25.5%)	5,963 (23.6%)	5,172 (22.2%)	4,671 (21.2%)	△ 2,944	△ 38.66%

()は、構成比 [資料：各年国勢調査]

(2) 第2次産業就業者数の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	増減(H27-H7)	
						増減	増減率
富良野市	2,290 (16.3%)	2,300 (16.8%)	1,677 (13.1%)	1,690 (13.8%)	1,586 (13.4%)	△ 704	△ 30.74%
上富良野町	1,070 (14.9%)	987 (14.0%)	895 (13.2%)	651 (10.9%)	671 (11.9%)	△ 399	△ 37.29%
中富良野町	429 (13.0%)	432 (13.5%)	323 (10.5%)	272 (9.7%)	235 (9.3%)	△ 194	△ 45.22%
南富良野町	293 (16.2%)	252 (15.1%)	234 (15.4%)	248 (17.7%)	189 (14.9%)	△ 104	△ 35.49%
占冠村	183 (13.5%)	137 (11.6%)	319 (27.3%)	241 (28.3%)	69 (9.3%)	△ 114	△ 62.30%
合計	4,265 (15.4%)	4,108 (15.3%)	3,448 (13.6%)	3,102 (13.3%)	2,750 (12.5%)	△ 1,515	△ 35.52%

()は、構成比 [資料：各年国勢調査]

(3) 第3次産業就業者数の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	増減(H27-H7)	
						増減	増減率
富良野市	8,030 (57.3%)	8,135 (59.3%)	8,186 (64.2%)	7,982 (65.0%)	7,584 (64.0%)	△ 446	△ 5.55%
上富良野町	4,557 (63.3%)	4,567 (64.9%)	4,515 (66.8%)	4,168 (69.9%)	3,968 (70.1%)	△ 589	△ 12.93%
中富良野町	1,189 (36.1%)	1,285 (40.3%)	1,398 (45.5%)	1,320 (47.1%)	1,285 (51.0%)	96	8.07%
南富良野町	958 (53.0%)	899 (53.8%)	908 (59.8%)	832 (59.4%)	821 (64.6%)	△ 137	△ 14.30%
占冠村	1,055 (77.7%)	952 (80.6%)	750 (64.3%)	534 (62.7%)	607 (81.7%)	△ 448	△ 42.46%
合計	15,789 (57.0%)	15,838 (59.1%)	15,757 (62.3%)	14,836 (63.7%)	14,265 (64.7%)	△ 1,524	△ 9.65%

()は、構成比 [資料：各年国勢調査]

注) 各年ともに分類不能の産業就業者がいるため、構成比の合計は100%にならない。

4 観光入込客数（平成29年度）

（1）観光入込客数

（単位：人）

市町村名	入り込み総数	観光入込客数				
		うち道外客	うち道内客	うち日帰客	うち宿泊客	宿泊客延数
富良野市	1,894,300	616,500	1,277,800	1,361,300	533,000	685,100
上富良野町	631,400	284,100	347,300	555,300	76,100	106,600
中富良野町	1,110,900	452,700	658,200	1,079,000	31,900	32,300
南富良野町	429,400	96,300	333,100	395,700	33,700	39,900
占冠村	1,756,700	818,000	938,700	1,401,600	355,100	618,100
合計	5,822,700	2,267,600	3,555,100	4,792,900	1,029,800	1,482,000

〔資料：北海道観光入込客数調査〕

（2）訪日外国人宿泊者数（延べ人数）

（単位：人）

市町村名		外国人宿泊者数（延べ人員）					
		アジア圏	欧州圏	北米圏	豪州	その他	
富良野市	宿泊客数	78,387	72,603	1,081	1,364	3,215	124
	宿泊客延数	131,644	110,961	3,244	3,387	13,468	584
上富良野町	宿泊客数	9,999	8,439	450	628	129	353
	宿泊客延数	14,150	11,099	992	1,262	206	591
中富良野町	宿泊客数	6,750	6,173	114	143	103	217
	宿泊客延数	8,420	7,315	282	227	232	364
南富良野町	宿泊客数	2,888	2,712	17	85	58	16
	宿泊客延数	3,676	3,463	17	108	72	16
占冠村	宿泊客数	117,350	97,911	254	908	3,146	15,131
	宿泊客延数	289,335	238,199	1,093	2,569	20,743	26,731
合計	宿泊客数	215,374	187,838	1,916	3,128	6,651	15,841
	宿泊客延数	447,225	371,037	5,628	7,553	34,721	28,286

〔資料：北海道観光入込客数調査〕

5 都市機能の利用状況

(1) 地域センター病院（北海道社会事業協会富良野病院）地区別患者数（平成29年度）

市町村名	外来延べ患者数		入院延べ患者数		救急患者数	
	患者数(人)	構成比	患者数(人)	構成比	患者数(人)	構成比
富良野市	89,642	58.5%	46,122	56.2%	3,058	52.6%
上富良野町	22,250	14.5%	10,696	13.0%	625	10.8%
中富良野町	16,579	10.8%	10,494	12.8%	638	11.0%
南富良野町	8,637	5.6%	5,058	6.2%	276	4.8%
占冠村	3,059	2.0%	3,679	4.5%	124	2.1%
その他	13,140	8.6%	6,054	7.4%	1,089	18.7%
合計	153,307	—	82,103	—	5,810	—

[資料：北海道社会事業協会富良野病院]

(2) 市立富良野図書館の利用登録者数（平成29年度末現在）

市町村名	登録者数(人)	構成比
富良野市	12,069	85.9%
上富良野町	695	4.9%
中富良野町	872	6.2%
南富良野町	286	2.0%
占冠村	68	0.5%
その他	69	0.5%
合計	14,059	—

[資料：市立富良野図書館]

(3) 中心市（富良野市）への従業者・通学者数

市町村名	常在する従業者・ 通学者数(人) ※自宅従事者を除く	富良野市への従業者・通学者数	
		(人)	左の割合
上富良野町	5,049	616	12.2%
中富良野町	1,755	516	29.4%
南富良野町	1,102	58	5.3%
占冠村	691	17	2.5%

[資料：平成27年国勢調査（従業者数、通学者数は15歳以上の数値）]

6 都市機能の集積状況

富良野市における公共施設等による各種サービス機能、医療機能、商業・娯楽機能その他の行政及び民間分野に係る都市機能の集積状況は、概ね次のとおりです。

(平成31年1月1日現在)

分類	都市機能	施設名
行政機関	国の機関	富良野簡易裁判所 旭川家庭裁判所富良野出張所 富良野税務署 旭川公共職業安定所富良野出張所 旭川開発建設部富良野道路事務所 旭川開発建設部富良野地域農業開発事業所 上川南部森林管理署富良野山部合同森林事務所
	北海道の機関	上川総合振興局 〔保健環境部富良野地域保健室 産業振興部上川農業改良普及センター富良野支所 南部森林室富良野事務所 旭川建設管理部富良野出張所〕 富良野警察署
医療・福祉	医療機関	病院 3機関、診療所 9機関、歯科診療所 13機関
	公的機関	北海道社会事業協会富良野病院 〔地域センター病院 地域周産期母子医療センター 災害拠点病院 へき地医療拠点病院 救急指定病院（二次救急医療病院） 労災指定病院 管理型医師臨床研修指定施設〕
	子育て施設（児童福祉施設）	保育所 〔市立認可 1ヶ所、市立へき地 3ヶ所 事業所内 5ヶ所、認可外 3ヶ所〕 子育て支援センター 障がい児通所施設 児童養護施設 児童厚生施設
	高齢者福祉施設	特別養護老人ホーム 養護老人ホーム 介護老人保健施設 ふれあいセンター
	障がい者福祉施設	知的障害者支援施設 地域生活支援センター 就労継続支援事業所
	その他施設	富良野市保健センター 富良野市地域福祉センター
	教育・文化・スポーツ	専修学校
	高等学校	富良野高等学校（道立） 富良野緑峰高等学校（道立） 富良野緑峰高等学校農業特別専攻科（道立）

分類	都市機能	施設名
教育・文化・スポーツ (続き)	幼稚園	私立幼稚園(4ヶ所)
	研究施設	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林
	文化・社会教育施設	富良野文化会館 公民館(3館) 市立富良野図書館 富良野市生涯学習センター 富良野演劇工場
	スポーツ施設	富良野スポーツセンター 富良野陸上競技場 富良野市民野球場 富良野市営若葉球場 富良野スキー場 富良野市中心街活性化センター(ふらっと)
産業	商業施設	大規模商業施設 7店舗 (店舗面積1,000㎡以上)
	観光施設	富良野市自然環境活用センター(ふれあいの家) 富良野市自然休養村管理センター(ふらのワインハウス) 富良野市農村環境改善センター(ハイランドふらの) 富良野市ぶどう果樹研究所(ワイン工場等) 富良野市チーズ工房 フラノマルシェ、フラノマルシェ2 コンシェルジュフラノ 山部自然公園太陽の里 富良野・美瑛広域観光センター 富良野・美瑛広域観光国際センター
	流通施設	富良野地方卸売市場
	金融機関	北洋銀行、北海道銀行、旭川信用金庫、空知商工信用組合、北海道労働金庫、ゆうちょ銀行、ふらの農業協同組合
	その他施設	コミュニティFM「ラジオふらの」 富良野地域人材開発センター
	生活	消費生活相談
都市公園	総合公園	朝日ヶ丘総合公園
交通機能	鉄道	JR根室本線、JR富良野線
	国道	国道38号、237号
	長距離バス	富良野⇄札幌、旭川⇄帯広、旭川⇄富良野
広域施設		富良野広域連合 〔 事務局、富良野地区環境衛生センター、 富良野学校給食センター、富良野消防署 〕 ふらの農業協同組合本所、富良野地区農業共済組合、 富良野地区森林組合、空知川上流土地改良区、

第3章 圏域の将来像

我が国では人口減少社会に本格的に突入する中、急速な少子高齢化、経済・産業のグローバル化、国民生活やニーズの多様化などにより、従来の社会構造に激しい変化が起こっており、一方、地方においても地域経済の低迷、労働人口の減少、高齢世帯の増加など地域社会を取り巻く環境は一層厳しくなっていることから、地方自治体も効率的・効果的な行財政運営と新たな行政システムの構築による自主・自立の確立が求められております。

富良野圏域は、大雪山国立公園や富良野芦別道立自然公園等の秀麗な山岳景観、広大な国有林野及び東京大学演習林などの森林地帯に囲まれた国内を代表する多自然地域であるとともに、肥沃な大地と大陸性の気候に育まれた多種多様で高品質かつ安全安心な農産物が生産され、また、酪農・畜産や林業も盛んであり、それらを活用した農産加工など地域資源を活かした産業振興が図られてまいりました。さらに、周囲の山岳と丘陵地帯や田園地帯が織りなす変化に富んだ景観、ラベンダーに代表される四季折々の彩り鮮やかな花々の鑑賞、豊かな自然を活用したスキー、ラフティング、サイクリング等のアウトドアスポーツ、十勝岳温泉をはじめとする温泉資源など人々の心身を健康にする魅力ある観光地として訪日外国人観光客が増え、宿泊施設の整備が進められています。

その様な中、これまで、本圏域は富良野市を中心に近隣町村と協力・連携を進め、産業、教育・文化、医療・福祉、環境保全など様々な分野において圏域住民の暮らしに必要な生活機能の確保を図ってまいりました。

将来に向けて、本圏域が独自性のある定住自立圏の形成を進めるにあたっては、「**農林畜産業・観光・環境・地域が有機的に結合した活力ある圏域づくり**」と「**すべての圏域住民が健康で安心して暮らし続けられる地域社会の形成**」を目指し、圏域を構成する市町村が相互に連携・協力し、これまでの取組による結びつきをさらに強めるとともに、豊かな地域資源を効果的に活用することにより交流人口の拡大、雇用創出、自然環境の保全や再生可能エネルギーの導入などの取組を実施することで、圏域全体の活性化を図ることが重要であります。

具体的には、圏域の基幹産業である農業の振興においては、農村が持つ多様な機能を活かした農村の維持と活性化、多様な担い手の育成・確保、経営の発展に向けた多様な取り組み、環境と調和のとれた安全・安心な農業生産の推進を図るとともに、観光振興では、広域連携により、～世界で最も豊かで美しい四季彩の大地へ～をブランドコンセプトに、雄大な自然環境や農村風景を活かした体験・滞在型観光の推進により、国際競争力の強い「ブランド観光地域」の形成を目指します。

また、子どもから高齢者まで安心で生きがいと潤いの持てる生活をおくることができるよう、医療・福祉体制の確保、教育環境の充実、良質な自然環境の保全、適正な廃棄物処理、安全安心な消費生活環境の確保など、全ての住民が住み慣れた地域で暮らし続けることができる圏域づくりを進めます。

さらに、圏域内外を結ぶ交通ネットワークの構築や情報通信網の整備などにより、日常の消費活動、福祉・医療サービス、農業・観光の振興、教育文化及び健康・スポーツ活動などにおける交流人口の拡大や圏域への人の流入を促進するとともに、地域を支える人材育成にも努め、圏域を構成する市町村がお互いに協力・連携しながら、地域資源を活かした特色のある地域づくりを推進します。

●圏域人口

○将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所公表）

（単位：人）

市町村名	平成 22 年度 (2010 年度)	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 32 年度 (2020 年度)	平成 37 年度 (2025 年度)	平成 42 年度 (2030 年度)	平成 47 年度 (2035 年度)	平成 52 年度 (2040 年度)
富良野市	24,258	22,936	21,596	20,161	18,681	17,169	15,619
上富良野町	11,545	10,826	9,991	9,160	8,309	7,470	6,639
中富良野町	5,477	5,069	4,664	4,251	3,856	3,481	3,112
南富良野町	2,814	2,555	2,331	2,126	1,921	1,730	1,552
占冠村	1,388	1,211	1,005	852	728	612	514
合 計	45,482	42,597	39,587	36,550	33,495	30,462	27,436

※平成 22 年度及び平成 27 年度は国勢調査の実績値

○将来展望人口（各自治体の人口ビジョンに基づく）

（単位：人）

市町村名	平成 22 年度 (2010 年度)	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 32 年度 (2020 年度)	平成 37 年度 (2025 年度)	平成 42 年度 (2030 年度)	平成 47 年度 (2035 年度)	平成 52 年度 (2040 年度)
富良野市	24,258	23,445	22,648	21,810	20,893	19,950	18,986
上富良野町	11,545	11,431	11,150	10,842	10,546	10,280	10,011
中富良野町	5,477	5,208	4,973	4,745	4,532	4,345	4,159
南富良野町	2,814	2,588	2,417	2,250	2,096	1,953	1,832
占冠村	1,388	1,290	1,239	1,187	1,140	1,095	1,055
合 計	45,482	43,962	42,427	40,834	39,207	37,623	36,043

○差引（将来展望人口－将来推計人口）

（単位：人）

市町村名	平成 22 年度 (2010 年度)	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 32 年度 (2020 年度)	平成 37 年度 (2025 年度)	平成 42 年度 (2030 年度)	平成 47 年度 (2035 年度)	平成 52 年度 (2040 年度)
富良野市	0	509	1,052	1,649	2,212	2,781	3,367
上富良野町	0	605	1,159	1,682	2,237	2,810	3,372
中富良野町	0	139	309	494	676	864	1,047
南富良野町	0	33	86	124	175	223	280
占冠村	0	79	234	335	412	483	541
合 計	0	1,365	2,840	4,284	5,712	7,161	8,607

●高齢化率

○将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所公表）

（単位：％）

市町村名	平成 22 年度 (2010 年度)	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 32 年度 (2020 年度)	平成 37 年度 (2025 年度)	平成 42 年度 (2030 年度)	平成 47 年度 (2035 年度)	平成 52 年度 (2040 年度)
富良野市	26.8	31.0	34.3	36.9	39.4	42.4	46.0
上富良野町	25.4	30.0	33.7	36.2	38.7	41.6	45.1
中富良野町	29.4	33.3	36.7	39.4	42.6	44.9	47.6
南富良野町	30.3	31.9	33.4	34.7	35.2	37.5	39.9
占冠村	21.2	25.7	30.0	32.3	34.6	36.9	43.4
合計	26.8	30.9	34.3	36.8	39.3	42.1	45.6

※平成 22 年度及び平成 27 年度は国勢調査の実績値

○将来展望人口（各自治体の人口ビジョンに基づく）

（単位：％）

市町村名	平成 22 年度 (2010 年度)	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 32 年度 (2020 年度)	平成 37 年度 (2025 年度)	平成 42 年度 (2030 年度)	平成 47 年度 (2035 年度)	平成 52 年度 (2040 年度)
富良野市	26.8	30.1	32.2	33.5	34.5	35.7	37.5
上富良野町	25.4	29.2	30.9	31.5	31.6	32.0	32.2
中富良野町	29.4	32.2	34.2	34.7	35.7	35.5	35.3
南富良野町	30.3	32.7	33.3	33.5	33.4	34.4	35.8
占冠村	21.2	25.8	27.8	29.8	31.2	31.3	32.4
合計	26.8	30.1	32.0	33.0	33.7	34.5	35.5

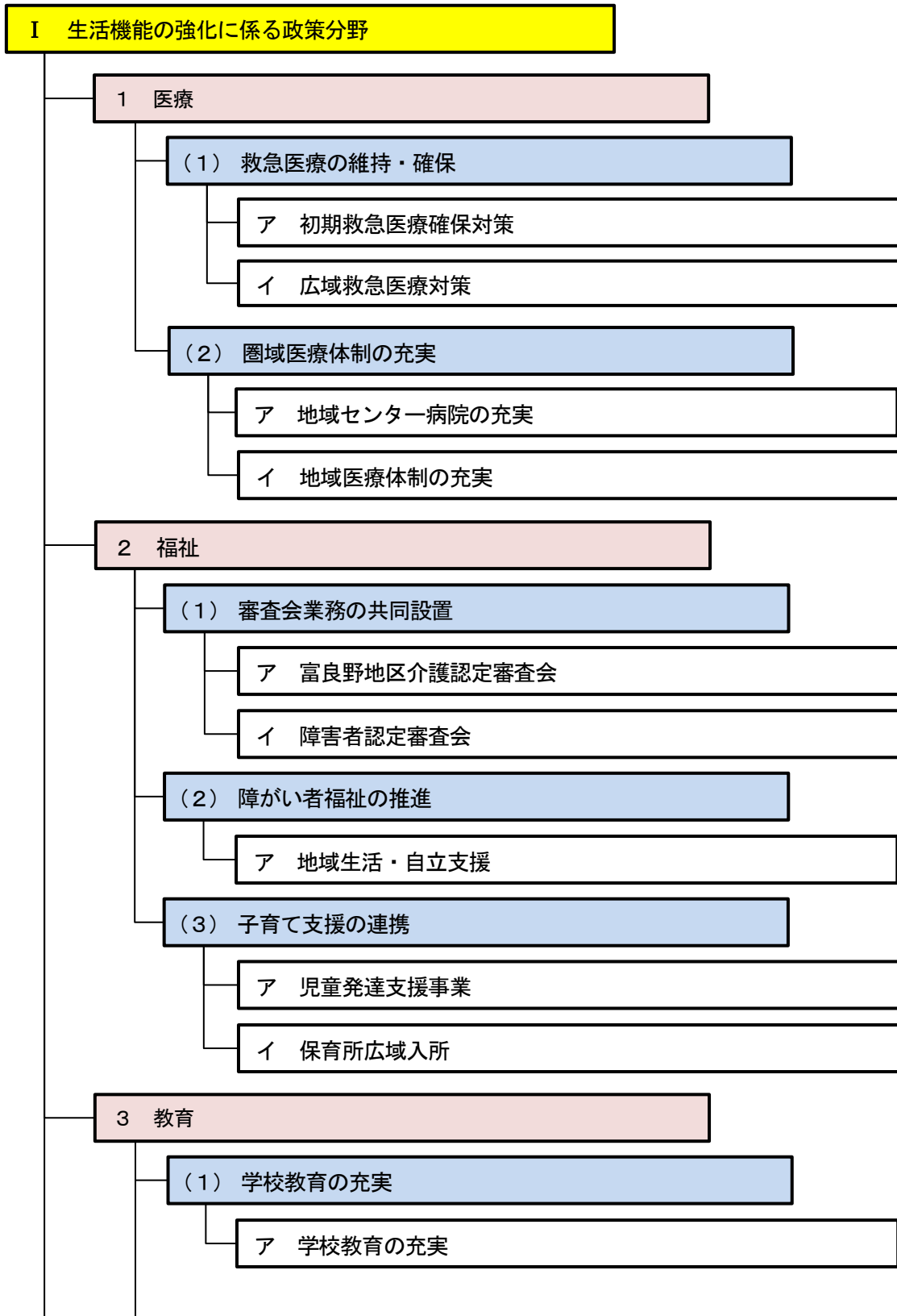
○差引（将来展望人口－将来推計人口）

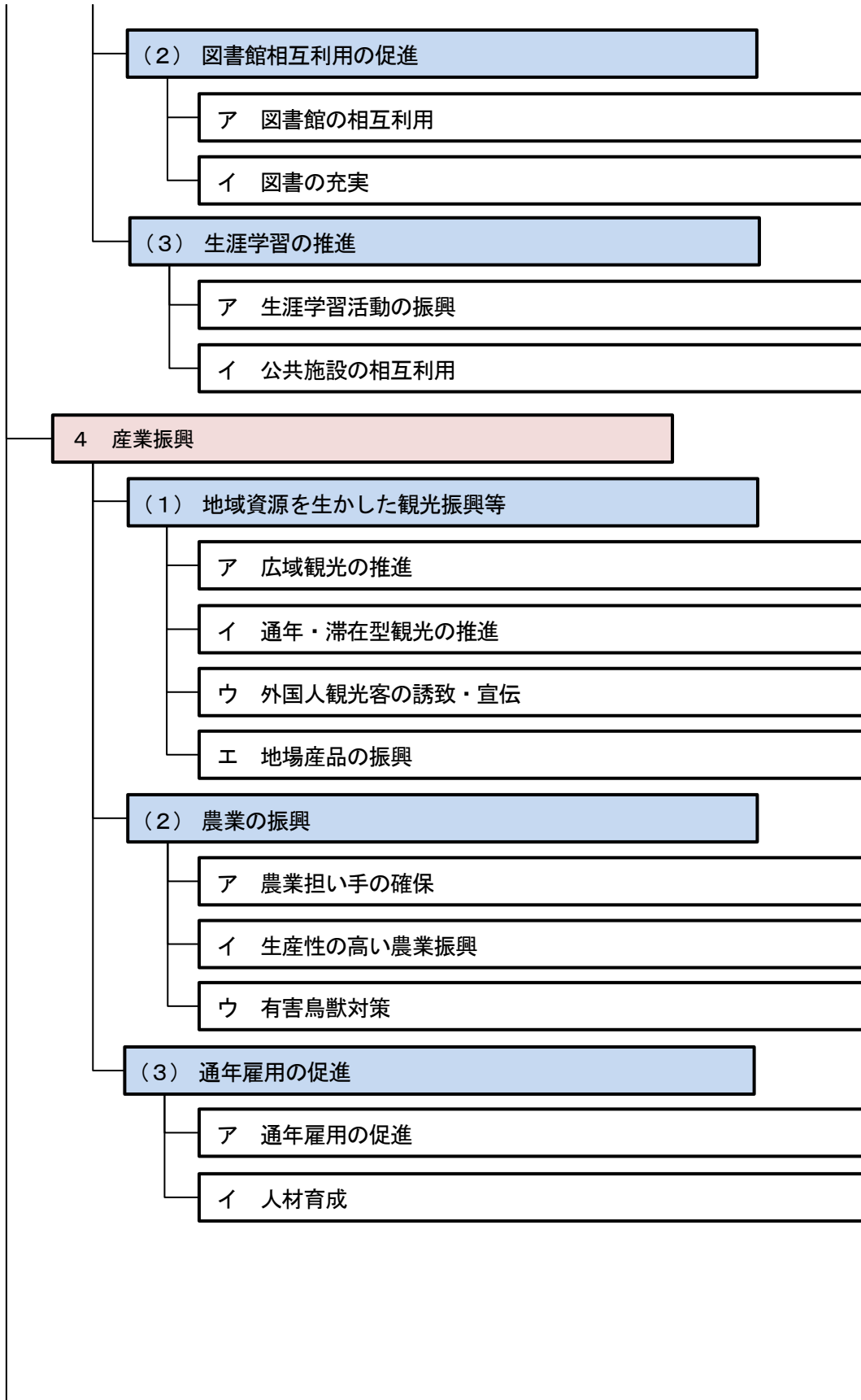
（単位：％）

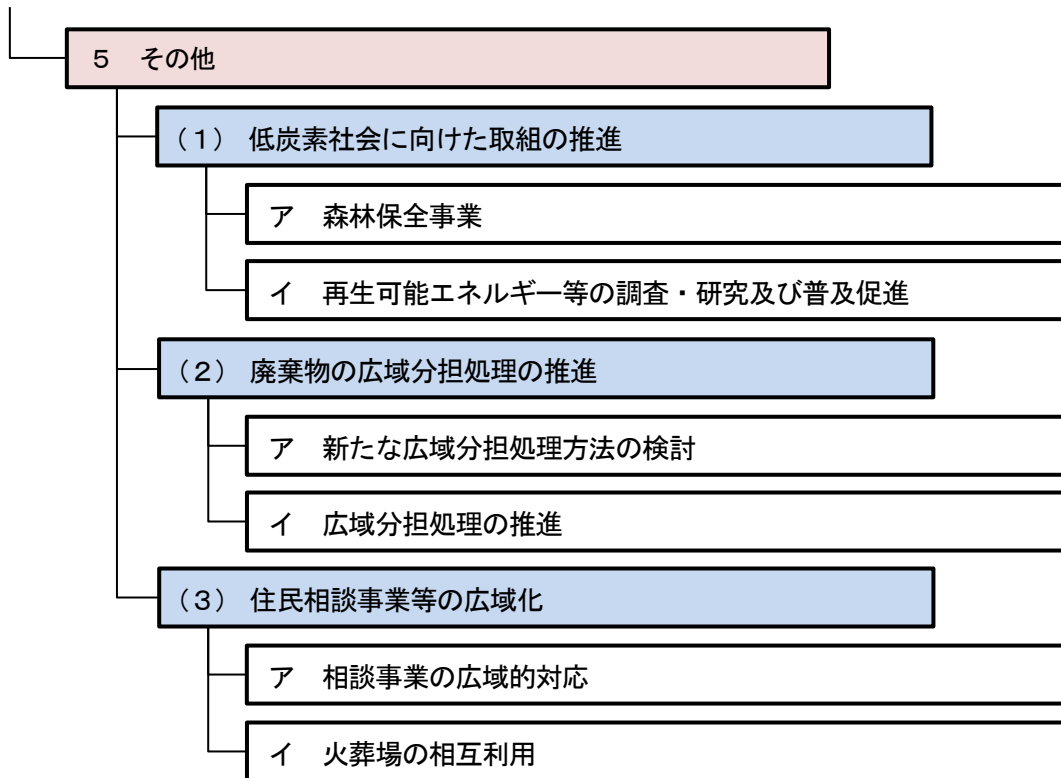
市町村名	平成 22 年度 (2010 年度)	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 32 年度 (2020 年度)	平成 37 年度 (2025 年度)	平成 42 年度 (2030 年度)	平成 47 年度 (2035 年度)	平成 52 年度 (2040 年度)
富良野市	0	△0.9	△2.1	△3.4	△5.0	△6.8	△8.5
上富良野町	0	△0.8	△2.8	△4.8	△7.1	△9.6	△12.9
中富良野町	0	1.0	△2.6	△4.7	△6.9	△9.4	△12.3
南富良野町	0	1.0	0	△1.3	△1.8	△3.1	△4.1
占冠村	0	0	△2.1	△2.5	△3.4	△5.6	△11.0
合計	0	△0.8	△2.2	△3.8	△5.6	△7.7	△10.0

第4章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取り組み

1 共生ビジョンの体系







II 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

1 地域公共交通

(1) 地域公共交通の確保

ア 生活バス路線の維持・確保

2 デジタル・ディバイドの解消に向けた ICT インフラ整備

(1) テレビ難視聴対策

ア テレビ難視聴対策

3 道路等の交通インフラの整備

(1) 交通ネットワークの形成

ア 各種期成会活動の推進

4 地域内外の住民との交流・移住促進

(1) 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 地域内外の住民との交流

イ 移住・定住の促進

III 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

1 宣言中心市等における人材の育成

(1) 地域リーダー育成研修

ア 地域リーダー研修

2 圏域内市町村職員等の交流

(1) 職員等の研修・交流

ア 職員等の研修・交流

イ 災害時の対応に向けた行政間ネットワークの構築

2 具体的な事業と内容

I 生活機能の強化に係る政策分野

1 医療

(1) 救急医療の維持・確保

協定の内容	(取組の内容) 夜間及び休日等における救急患者に対応するため、救急医療体制の維持・確保を図るとともに、圏域住民へ救急医療知識の普及啓発を行う。
	(甲の役割；富良野市) 北海道社会事業協会富良野病院における第2次救急医療体制の維持・確保を図るとともに、富良野医師会に委託して、初期救急医療の体制確保と圏域住民への救急医療啓発を行う。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲と連携して、北海道社会事業協会富良野病院における第2次救急医療体制の維持・確保を図るとともに、富良野医師会とも連携し、初期救急医療の確保に努める。

ア 初期救急医療確保対策

事業内容	平日夜間・土日及び祝祭日における初期救急医療の維持・確保を富良野医師会に事業を委託するとともに、年末年始における救急医療を富良野協会病院へ委託する。また、圏域住民への救急医療の普及啓発を図る。
効果	初期救急医療の体制確保と圏域住民への救急医療啓発によって、圏域住民の安全安心な生活確保が図られる。
役割分担	富良野医師会との委託契約を中心市が行い、必要な経費を各自治体が負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
年末年始救急医療事業	富良野市						
初期救急医療確保対策事業	富良野市	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
初期救急医療確保対策事業	上富良野町						
初期救急医療確保対策事業	中富良野町						
初期救急医療確保対策事業	南富良野町						
初期救急医療確保対策事業	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 広域救急医療対策

事業内容	広域救急二次医療を担う富良野協会病院に対する救急医療運営費を助成するとともに、小児科医師のオンコール体制に対し補助し、広域救急体制を維持確立する。
効果	広域救急二次医療体制及び小児科医師の救急体制確保によって、圏域住民が専門的かつ高次救急医療の受診が可能となり、圏域住民のより安心な生活確保が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	小児救急医療支援事業

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
広域救急医療対策事業	富良野市						
広域救急医療対策事業	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
広域救急医療対策事業	中富良野町						
広域救急医療対策事業	南富良野町						
広域救急医療対策事業	占冠村						
小児救急医療支援事業	富良野市						
小児救急医療支援事業	上富良野町						
小児救急医療支援事業	中富良野町						
小児救急医療支援事業	南富良野町						
小児救急医療支援事業	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

(2) 圏域医療体制の充実

協定の内容	(取組の内容) 圏域住民が安心して暮らせるよう、圏域医療体制の充実を図る。
	(甲の役割；富良野市) 圏域医療における役割分担のもとに、甲の地域における医療体制の充実を図るとともに、病病連携・病診連携、医療情報の共有及びネットワーク化を促進する。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 圏域医療における役割分担のもとに、乙の地域における医療体制の充実を図るとともに、甲と連携し、病病連携・病診連携、医療情報の共有及びネットワーク化を促進する。

ア 地域センター病院の充実

事業内容	中核医療機関である地域センター病院の充実のため、医師を確保する対策を支援するとともに、地域センター病院など指定機関としての機能確保・充実のため、市町村及び一次医療・保健・福祉機関などとの連携及び相互協議を図る。また、地域センター病院から近隣病院への医師の派遣を行う。
効果	二次医療を担う圏域に必要な診療体制を確保するとともに、地域の医療機関への医師等の派遣や病病連携・病診連携による第二次保健医療福祉圏におけるセンターとしての役割を確立する。
役割分担	地域センター病院の医師確保対策は中心市が支援し、派遣に必要な経費は関係する自治体が負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
地域センター病院医師確保対策事業	富良野市						
医師派遣事業	上富良野町						
地域センター病院運営委員会	富良野市	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
地域センター病院運営委員会	上富良野町						
地域センター病院運営委員会	中富良野町						
地域センター病院運営委員会	南富良野町						
地域センター病院運営委員会	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 地域医療体制の充実

事業内容	圏域の医療体制を確保するため、地域内の連携強化と地域住民への医療に関する広報活動等を推進する。また、地域医療の充実のため医育大学生を対象に修学に必要な資金を貸付けし、地域を担う医師の養成と確保を図る。また、急増する外国人患者に対応するため、医療翻訳ツールの試験的導入を行う。
効果	地域における診療体制の維持確保とともに圏域内の地域医療体制等に関して情報共有を図り推進体制を構築する。
役割分担	修学資金の貸付等は、中心市が行う。 協議会運営に関する経費は、各自治体が負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
医師養成確保修学資金貸付金	富良野市						
富良野地域医療対策協議会負担金	富良野市	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
富良野地域医療対策協議会負担金	上富良野町						
富良野地域医療対策協議会負担金	中富良野町						
富良野地域医療対策協議会負担金	南富良野町						
富良野地域医療対策協議会負担金	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

2 福祉

(1) 審査会業務の共同設置

協 定 の 内 容	(取組の内容) 人材確保による業務の安定化と効率化を図るため、介護認定審査会及び障害認定審査会の共同設置・共同運営を推進する。
	(甲の役割；富良野市) 乙と共同で設置する介護認定審査会及び障害認定審査会の事務局として、当該審査会の運営を行う。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲と共同で設置する介護認定審査会及び障害認定審査会の運営について、必要な協力を行う。

ア 富良野地区介護認定審査会

事業内容	介護保険法に基づく要介護認定審査事務を共同で行う。
効果	人材確保による業務の安定・効率化によって、審査会委員の確保、圏域内における中立・公正な判定と認定事務の効率化が図られる。
役割分担	認定審査会の事務は、中心市で行い、必要な経費を各自治体が負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
富良野地区介護認定審査会共同設置事業	富良野市						
富良野地区介護認定審査会共同設置事業	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
富良野地区介護認定審査会共同設置事業	中富良野町						
富良野地区介護認定審査会共同設置事業	南富良野町						
富良野地区介護認定審査会共同設置事業	占冠村						
富良野地区介護認定審査会共同設置事業	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 障害者認定審査会

事業内容	障害者自立支援法に基づく障害程度区分認定事務を共同で行う。
効果	人材確保による業務の安定・効率化によって、審査会委員の確保、圏域内における中立・公正な判定と認定事務の効率化が図られる。
役割分担	認定審査会の事務は、中心市で行い、必要な経費を各自治体が負担する。
補助制度等	地域生活支援事業費補助金

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
障害者認定審査会事業費	富良野市						
障害者認定審査会事業費	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
障害者認定審査会事業費	中富良野町						
障害者認定審査会事業費	南富良野町						
障害者認定審査会事業費	占冠村						
障害者認定審査会事業費	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

(2) 障がい者福祉の推進

協定の内容	(取組の内容) 障がい者（児）の自立と社会参加を促進するため、地域生活支援事業の広域利用を推進する。
	(甲の役割；富良野市) 障がい者の自立促進と地域生活支援のため、乙と連携して地域生活支援センターの広域利用を推進する。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 障がい者の自立促進と地域生活支援のため、甲と連携して地域生活支援センターの広域利用を推進する。

ア 地域生活・自立支援

事業内容	障害者自立支援法に基づき障がい者の自立と社会参加を促進するため、地域生活支援事業、障がい者相談支援、日中一時支援、地域生活支援センターなど各種相談・支援事業を連携して社会福祉法人やNPO法人等に委託し実施する。
効果	効率的な相談支援事業所の運営と地域生活支援事業の安定した福祉サービスの提供を図る。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	地域生活支援事業費補助金

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
地域生活支援事業	富良野市						
地域生活支援事業	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
地域生活支援事業	中富良野町						
地域生活支援事業	南富良野町						
地域生活支援事業	占冠村						
日中一時支援事業	富良野市						
日中一時支援事業	中富良野町						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

(3) 子育て支援の連携

協定の内容	(取組の内容) 障がい児の自立活動支援のため、療育施設の広域利用を推進するとともに、子育て支援のため、保育所の広域入所を推進する。
	(甲の役割；富良野市) 富良野市子ども通園センターを運営するとともに、乙と連携して保育所の広域入所を推進する。
	(乙の役割；南富良野町・占冠村) 甲が設置する富良野市子ども通園センターの運営について、連携して取組を行うとともに、甲と連携して保育所の広域入所を推進する。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町) 甲と連携して保育所の広域入所を推進する。

ア 児童発達支援事業

事業内容	障がい又は障がいの疑いのある児童に対して、相談や個別的、集団的な療育を行い、その発達を促すための援助をし、保護者の子育てに対する支援を行うとともに、社会福祉法人やNPO法人による障害児通所施設の運営を支援する。
効果	障害児等を対象とした施設の広域的利用を促進するとともに、安定した事業運営の確保が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	障害児施設措置費（給付費等）負担金

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
富良野市子ども通園センター運営事業	富良野市						
富良野市子ども通園センター運営事業	南富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
富良野市子ども通園センター運営事業	占冠村						
障害児通所給付事業	富良野市						
障害児通所給付事業	上富良野町						
障害児通所給付事業	南富良野町						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 保育所広域入所

事業内容	保育が必要な児童が、他市町村保育所等へ入所ができる広域入所を実施するとともに、認可外私立保育所を支援し、待機児童対策を推進する。
効果	遠隔地に就労する保護者のニーズなどに対応した保育サービスの供給と待機児童の解消が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
認可外私立保育所補助金	富良野市						
広域入所給付費	富良野市						
広域入所給付費	上富良野町						
広域入所給付費	中富良野町						
広域入所給付費	南富良野町						
広域入所給付費	占冠村						

※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

3 教育

(1) 学校教育の充実

協定の内容	(取組の内容) 児童生徒の健全育成のため、広域的な教育振興、人材育成及び教材等の共同活用などにより効果的な教育施策を推進するとともに、学校保健安全法の適用に関して連携を図る。
	(甲の役割；富良野市) 乙と連携して、児童生徒のための人材育成や教材の共同活用等により、広域的な教育の振興を図る。また、学校保健安全法の適用に関して中心的な役割を果たすとともに、乙と連携を図る。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲と連携して、児童生徒のための人材育成や教材の共同活用等により、広域的な教育の振興を図るとともに、学校保健安全法の適用に関して甲と連携を図る。

ア 学校教育の充実

事業内容	圏域内の教育振興と視聴覚ライブラリーの設置運営を行うとともに、学校保健安全法に基づき結核対策委員会の円滑な運営を図る。
効果	教育委員・職員や各リーダーの研修や視聴覚教育活動の普及指導が促進される。また学校保健安全法に基づく疾病に対する専門的知識の人材確保と効率的運営が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。また、結核対策委員会は中心市の教育委員会が委嘱する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
富良野地区広域教育圏振興協議会負担金	富良野市						
富良野地区広域教育圏振興協議会負担金	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
富良野地区広域教育圏振興協議会負担金	中富良野町						
富良野地区広域教育圏振興協議会負担金	南富良野町						
富良野地区広域教育圏振興協議会負担金	占冠村						
富良野地区広域教育圏振興協議会負担金	富良野市						
富良野地区結核対策委員協議会負担金	上富良野町						
富良野地区結核対策委員協議会負担金	中富良野町						
富良野地区結核対策委員協議会負担金	南富良野町						
富良野地区結核対策委員協議会負担金	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

(2) 図書館相互利用の促進

協定の内容	(取組の内容) 圏域住民の教育・文化の向上を図るため、図書館の相互利用を促進する。
	(甲の役割；富良野市) 乙と連携して圏域住民の図書館利用を促進するとともに、図書の実と圏域住民への蔵書情報の提供を行う。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲と連携して圏域住民の図書館利用を促進するとともに、図書の実と圏域住民への蔵書情報の提供に努める。

ア 図書館の相互利用

事業内容	上川管内図書館協議会等と連携し、図書館・公民館図書室が所蔵する図書資料の相互貸借を行う。
効果	圏域における図書館・公民館図書室の相互利用によって、図書利用者による利便性向上が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
上川管内図書館協議会負担金	富良野市						
上川管内図書館協議会負担金	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
上川管内図書館協議会負担金	中富良野町						
上川管内図書館協議会負担金	南富良野町						
上川管内図書館協議会負担金	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 図書の充実

事業内容	図書館・公民館図書室の相互利用を推進するため、各図書館・公民館図書室における図書資料の充実や環境を整備し、図書サービスの充実・向上を図る。
効果	図書館・公民館図書室の相互利用の増加が図られ、圏域における生涯学習環境の充実が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	新市町村振興宝くじ収益金交付金

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
図書資料整備事業	富良野市						
図書資料整備事業	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
図書資料整備事業	中富良野町						
図書資料整備事業	南富良野町						
図書資料整備事業	占冠村						
図書資料整備事業	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

(3) 生涯学習の推進

協定の内容	(取組の内容) 圏域住民の学習機会の充実を図るため、連携する事業を実施するとともに、公共施設の有効活用及び各公共施設等で実施する講演、イベントや大会などの充実並びに圏域住民への情報提供を促進する。
	(甲の役割；富良野市) 乙と連携して連携事業を実施するなど公共施設の相互利用を促進するとともに、学習機会の充実と圏域内の情報を相互に交換し、甲の住民への周知を図る。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲と連携して連携事業を実施するなど公共施設の相互利用を促進するとともに、学習機会の充実と圏域内の情報を相互に交換し、乙の住民への周知を図る。

ア 生涯学習活動の振興

事業内容	地域文化活動や地域特性を活かしたスポーツ活動の推進と活性化のため、演劇などの文化活動やスポーツ活動を支援し、生涯学習活動への参加を促進する。
効果	スポーツ・文化活動をはじめとする圏域住民の生涯学習機会の充実と、学習活動の推進が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
道北圏広域スポーツセンター協議会負担金	富良野市						
道北圏広域スポーツセンター協議会負担金	上富良野町						
道北圏広域スポーツセンター協議会負担金	中富良野町						
道北圏広域スポーツセンター協議会負担金	南富良野町						
道北圏広域スポーツセンター協議会負担金	占冠村						
北海道舞台塾ふらの開催負担金	富良野市						
北海道舞台塾ふらの開催負担金	上富良野町						
北海道舞台塾ふらの開催負担金	中富良野町						
北海道舞台塾ふらの開催負担金	南富良野町						
北海道舞台塾ふらの開催負担金	占冠村						
ふらの演劇祭実行委員会交付金	富良野市						
ふらの演劇祭実行委員会参加料	中富良野町						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 公共施設の相互利用

事業内容	文化・スポーツ施設の相互利用を促進するため、圏域内の施設や環境を整備し、生涯学習活動の助長を図る。
効果	各施設の相互利用の増加が図られ、各種活動の創出・活性化と圏域内の効率的な環境整備が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
体育施設管理事業	富良野市						
社会教育施設管理事業	上富良野町						
社会体育施設維持管理事業	中富良野町						
体育施設管理事業	南富良野町						
社会教育施設の相互利用	占冠村						

※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

4 産業振興

(1) 地域資源を生かした観光振興等

協定の内容	(取組の内容) 圏域における観光と地場産品の振興を図るため、各市町村が有する観光、食、物産品など地域資源の魅力や付加価値を発展・向上させるとともに、各市町村及び関係団体と連携して広域観光を推進する。また、イベント・物産情報等を共有し、相互に参加・PRしながら誘客宣伝及び物産振興を図る。
	(甲の役割；富良野市) 乙と連携し、地域資源を生かした広域観光を推進するとともに、観光施設等の維持・整備、各種イベントの推進、観光メニューの研究・開発、地場産品等の振興を促進する。また、関係団体と連携し、着地型・滞在型観光を促進する。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲と連携し、地域資源を生かした広域観光を推進するとともに、観光施設等の維持・整備、各種イベントの推進、観光メニューや地場産品等の研究・開発を促進する。また、関係団体と連携し、通年型・滞在型観光を促進する。

ア 広域観光の推進

事業内容	上川地方観光連盟等と連携するとともに、富良野美瑛広域観光圏のコンセプトのもと、誘客宣伝と観光環境整備を行う。
効果	ブランド観光圏を見据え、他と差別化された広域的な地域ブランドを確立するとともに国内外から選好される「日本の顔づくり」が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	いきいきふるさと推進事業

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
富良野美瑛キャンペーン推進事業	富良野市						
富良野美瑛キャンペーン推進事業	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
富良野美瑛キャンペーン推進事業	中富良野町						
富良野美瑛キャンペーン推進事業	南富良野町						
富良野美瑛キャンペーン推進事業	占冠村						
上川地方観光連盟負担金	富良野市						
上川地方観光連盟負担金	上富良野町						
上川地方観光連盟負担金	中富良野町						
上川地方観光連盟負担金	南富良野町						
上川地方観光連盟負担金	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 通年・滞在型観光の推進

事業内容	圏域内の観光関連団体と連携を図り、季節偏差のない通年型・滞在型観光を推進する。
効果	広域観光と連動し、観光の受け地として窓口や情報発信など環境整備と各種イベントの開催が図られ、季節偏差のない滞在型観光を推進する。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
ふらの版 DMO 推進事業	富良野市						
観光協会補助金	富良野市						
観光インフォメーションセンター運営管理	富良野市						
北海へそ祭り実行委員会補助金	富良野市						
通年・滞在型観光推進事業	上富良野町						
観光協会補助金	上富良野町						
観光施設の整備	上富良野町						
観光イベント推進事業	上富良野町						
花人街道連携会議負担金	中富良野町						
観光協会補助金	中富良野町						
観光施設管理事業	中富良野町						
通年・滞在型観光推進事業	南富良野町						
観光協会事業推進負担金	南富良野町						
観光施設の整備	南富良野町						
かなやま湖「湖水まつり」開催負担金	南富良野町						
観光協会補助金	占冠村						
観光施設の整備	占冠村						
観光イベント推進事業	占冠村						

※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

ウ 外国人観光客の誘致・宣伝

事業内容	各種媒体を通じた情報発信やプロモーション・招聘事業を行うとともに、アジア圏の観光客に対応する職員を配置するなど、受け地整備を行う。
効果	ビジット・ジャパンと連携し外国人の来訪を促進するとともに、特にアジア圏・オセアニア圏からの誘客宣伝が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
外国人観光客誘致対策事業	富良野市	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
外国人観光客誘致対策事業	南富良野町						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

エ 地場産品の振興

事業内容	地域特性を生かした特産品の研究・開発と合わせ、各種情報を圏域内外に発信し、販売促進を図るとともに、メイドインフラノ推進事業の拡大を検討する。
効果	地域特性を生かした特産品の活用により、観光資源との相乗効果が期待されるとともに、圏域全体のブランド化と観光振興が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
地域特産品振興対策事業	富良野市						
メイドインフラノ推進事業	富良野市	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
地場産品普及推進事業	上富良野町						
地場産業振興事業	中富良野町						
地域特産品振興対策事業	南富良野町						
地場産品の開発及び振興	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

(2) 農業の振興

協定の内容	(取組の内容) 生産性の高い持続可能な農業振興のため、農業担い手の育成・確保と生産性の向上を図るとともに、鳥獣による農林業への被害防止のため、関係機関・団体と連携して被害状況や被害防止対策等の情報交換を行ない、効果的な対策を推進する。
	(甲の役割；富良野市) 乙及び関係機関・団体と連携し、農業担い手の育成・確保と生産性の向上により農業農村振興を図る。また、鳥獣による被害状況や被害防止対策に係る情報交換を相互に行ない、被害防止対策を講じる。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲及び関係機関・団体と連携し、農業担い手の育成・確保と生産性の向上により農業農村振興を図る。また、鳥獣による被害状況や被害防止対策に係る情報交換を相互に行ない、被害防止対策を講じる。

ア 農業担い手の確保

事業内容	北海道富良野緑峰高等学校農業特別専攻科並びに農業自営者教育に関して必要な支援を行うとともに農業後継者パートナー対策の推進を図る。
効果	農家子弟など農業後継者やパートナー対策の積極的推進により、圏域の基幹産業である農業の持続的発展が図られる。
役割分担	各自自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
富良野市農業担い手育成機構運営負担金	富良野市						
富良野地区農業自営者教育振興会負担金	富良野市	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
富良野地区農業自営者教育振興会負担金	上富良野町						
富良野地区農業自営者教育振興会負担金	中富良野町						
富良野地区農業自営者教育振興会負担金	南富良野町						
富良野地区農業自営者教育振興会負担金	占冠村						
富良野地方アグリパートナー協議会負担金	富良野市						
富良野地方アグリパートナー協議会負担金	上富良野町						
富良野地方アグリパートナー協議会負担金	中富良野町						
富良野地方アグリパートナー協議会負担金	南富良野町						
富良野地方アグリパートナー協議会負担金	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 生産性の高い農業の振興

事業内容	圏域内の市町村及び農業団体で構成する富良野地区営農推進協議会や富良野地区農政推進会議を支援し、円滑な連携と農畜産物の生産性向上を推進する。
効果	圏域の基幹産業である農業の近代化及び技術の向上並びに農村振興など、広域農業の円滑な推進が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
富良野地区営農推進協議会負担金	富良野市						
富良野地区営農推進協議会負担金	上富良野町						
富良野地区営農推進協議会負担金	中富良野町						
富良野地区営農推進協議会負担金	南富良野町						
富良野地区営農推進協議会負担金	占冠村						
富良野地区農政推進会議	富良野市						
富良野地区農政推進会議	上富良野町						
富良野地区農政推進会議	中富良野町						
富良野地区農政推進会議	南富良野町						
富良野地区農政推進会議	占冠村						

※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

ウ 有害鳥獣対策

事業内容	有害鳥獣による農林業への被害防止を図るため、有害鳥獣被害防止対策を推進する。
効果	有害鳥獣による被害状況や被害防止対策等に係る情報共有など、連携を図ることによって未然防止が期待される。さらに圏域の基幹産業である農林業に対する被害防止が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
有害鳥獣駆除対策事業	富良野市						
有害鳥獣対策事業	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
有害鳥獣対策事業	中富良野町						
有害鳥獣駆除対策事業	南富良野町						
有害鳥獣対策事業	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

(3) 通年雇用の促進

協定の内容	(取組の内容) 季節労働者などへの各種支援により、通年雇用化を促進するとともに、地域人材開発センターの活用による圏域住民の人材育成・能力開発を図る。
	(甲の役割；富良野市) 乙及び関係機関・団体と連携し、季節労働者などの通年雇用の促進のため、各種取組を図るとともに、圏域住民の職業教育訓練など地域人材開発センターの活用を推進する。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲及び関係機関・団体と連携し、季節労働者などの通年雇用の促進のため、各種取組を図るとともに、乙の住民の職業教育訓練など地域人材開発センターの活用を推進する。

ア 通年雇用の促進

事業内容	季節雇用者の通年雇用化に向けたセミナーの開催、資格取得支援及び取組企業への支援を行う。
効果	圏域内の季節雇用者に対する通年雇用の促進が期待される。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
富良野広域圏通年雇用促進協議会分担金	富良野市						
富良野広域圏通年雇用促進協議会分担金	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
富良野広域圏通年雇用促進協議会分担金	中富良野町						
富良野広域圏通年雇用促進協議会分担金	南富良野町						
富良野広域圏通年雇用促進協議会分担金	占冠村						
富良野広域圏通年雇用促進協議会分担金	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 人材育成

事業内容	圏域の中小企業労働者、求職者及び地域住民に対し、各種職業教育訓練を行うとともに、教育訓練を行う事業主・事業団体・地域住民等に施設や各種情報の提供を行う。
効果	さまざまな職業教育のための訓練、住民講座などの事業を実施し、地域の人材育成・能力開発を通じて、地域経済を支える「人づくり」と社会の発展が期待される。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
富良野地域人材開発センター運営協会負担金	富良野市						
富良野地域人材開発センター運営協会負担金	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
富良野地域人材開発センター運営協会負担金	中富良野町						
富良野地域人材開発センター運営協会負担金	南富良野町						
富良野地域人材開発センター運営協会負担金	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

5 その他

(1) 低炭素社会に向けた取組の推進

協定の内容	(取組の内容) 低炭素社会の形成に向け、圏域の豊かな森林資源の保全及び新エネルギーの活用をはじめ、地域に適合した多様な取組を推進する。
	(甲の役割；富良野市) 乙及び関係機関・団体と連携して、圏域の森林資源を適正に保全するとともに、再生可能エネルギー等に係る圏域内の情報交換と調査・研究を促進し、普及に努める。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲及び関係機関・団体と連携して、圏域の森林資源を適正に保全するとともに、再生可能エネルギー等に係る情報交換と調査・研究を促進し、普及に努める。

ア 森林保全事業

事業内容	圏域の森林保全と森林整備を推進する。
効果	圏域の森林資源の保全や森林整備によって、低炭素社会の形成が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	市有林造成事業補助金、未来につなぐ森づくり推進事業補助金 森林環境保全整備事業補助金、森林環境贈与税

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
市有林造成事業	富良野市						
民有林育成推進事業	富良野市	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
町有林造成事業	上富良野町						
民有林育成推進事業	上富良野町						
民有林育成推進事業	中富良野町						
町有林整備事業	南富良野町						
民有林育成推進事業	南富良野町						
村有林造成事業	占冠村						
民有林育成推進事業	占冠村						
森林経営計画推進事業負担金	富良野市						
森林経営計画推進事業負担金	上富良野町						
森林経営計画推進事業負担金	中富良野町						
森林経営計画推進事業負担金	占冠村						
上川森林認証協議会負担金	富良野市						
上川森林認証協議会負担金	上富良野町						
上川森林認証協議会負担金	中富良野町						
上川森林認証協議会負担金	南富良野町						
上川森林認証協議会負担金	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 再生可能エネルギー等の調査・研究及び普及促進

事業内容	地域生産固形燃料（RDF ペレット）、太陽光、木質バイオマス、小水力発電などの再生可能エネルギーの活用など普及促進を図るとともに、地域・産業特性に応じたエネルギーの分散型利用モデルを構築する。
効果	再生可能エネルギーの活用によって、低炭素社会の形成が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
地球温暖化防止対策事業	富良野市						
住宅環境改善事業	中富良野町						
再生可能エネルギー普及促進事業	南富良野町						
木質バイオマス利活用推進事業	占冠村						

※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

(2) 廃棄物の広域分担処理の推進

協定の内容	(取組の内容) 一般廃棄物の安定的な処理を維持・確保するため、広域分担による廃棄物処理と圏域内施設の広域利用を促進するとともに、より効果的・効率的な処理方法について調査・研究を図る。
	(甲の役割；富良野市) 乙及び関係町村・広域連合と連携して一般廃棄物の広域分担処理を維持するとともに、より効果的・効率的な処理方法について調査・研究する。
	(乙の役割；中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲及び関係町村・広域連合と連携して一般廃棄物の広域分担処理を維持するとともに、甲及び関係町村が共同で取り組む処理方法の調査研究について連携して取組を行う。
	(乙の役割；上富良野町) 甲及び関係町村・広域連合と連携して一般廃棄物の広域分担処理を維持する。

ア 新たな広域分担処理方法の検討

事業内容	処理施設改善計画等の協議調整を行う。
効果	廃棄物処理の資源化を促進することにより、効率的かつ環境に配慮した廃棄物処理が形成される。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
富良野生活圈一般廃棄物広域分担処理検討協議会	富良野市						
富良野生活圈一般廃棄物広域分担処理検討協議会	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
富良野生活圈一般廃棄物広域分担処理検討協議会	中富良野町						
富良野生活圈一般廃棄物広域分担処理検討協議会	南富良野町						
富良野生活圈一般廃棄物広域分担処理検討協議会	占冠村						
富良野生活圈一般廃棄物広域分担処理検討協議会							

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 広域分担処理の推進

事業内容	一般廃棄物の広域分担処理の推進により、廃棄物の安定的かつ効率的な処理を維持・確保する。
効果	廃棄物の処理を広域的に分担することにより、処理施設の効率かつ長寿命化と安定した廃棄物処理が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
し尿・生ゴミ広域分担処理	富良野市						
し尿・生ゴミ広域分担処理	上富良野町						
し尿・生ゴミ広域分担処理	中富良野町						
し尿・生ゴミ広域分担処理	南富良野町						
し尿・生ゴミ広域分担処理	占冠村						
プラスチック・ペットボトル・空き瓶広域分担処理	富良野市						
プラスチック・ペットボトル・空き瓶広域分担処理	上富良野町						
プラスチック・ペットボトル・空き瓶広域分担処理	中富良野町						
プラスチック・ペットボトル・空き瓶広域分担処理	南富良野町						
プラスチック・ペットボトル・空き瓶広域分担処理	占冠村						
衛生用品広域分担処理	富良野市						
衛生用品広域分担処理	中富良野町						
動物死体広域分担処理	富良野市						
動物死体広域分担処理	中富良野町						
動物死体広域分担処理	南富良野町						
動物死体広域分担処理	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

(3) 住民相談事業等の広域化

協定の内容	(取組の内容) 複雑・多様化する住民の日常相談、法律相談、消費生活相談に対応するため、広域的な取組を推進する。また、火葬場の広域的使用の円滑化を図る。
	(甲の役割；富良野市) 甲が実施又は設置する法律及び日常的な相談並びに富良野市消費生活センターを広域的に運営し、圏域住民の各種相談体制の確保に努める。また、火葬場の広域的使用のため、必要な整備を図る。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲が実施又は設置する法律及び日常的な相談並びに富良野市消費生活センターと連携を図り、各種相談体制を確保するとともに、火葬場の広域的使用のため、必要な整備を図る。

ア 相談事業の広域的対応

事業内容	複雑・多様化する圏域住民の日常相談、法律相談、消費生活相談に対応するため、広域による相談事業を実施する。
効果	各種相談事業の広域的対応によって、圏域住民の生活機能の安定と消費者被害の発生または拡大防止が図られる。
役割分担	中心市は、相談業務を担当する職員を確保するとともに、消費生活センターを広域的に運営する。必要な経費は、各自治体が負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
住民相談事務	富良野市						
住民相談事務	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
住民相談事務	中富良野町						
住民相談事務	南富良野町						
住民相談事務	占冠村						
消費生活相談事務	富良野市						
消費生活相談事務	上富良野町						
消費生活相談事務	中富良野町						
消費生活相談事務	南富良野町						
消費生活相談事務	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 火葬場の相互利用

事業内容	火葬場の相互利用を促進するため、圏域内火葬場の施設や環境を整備する。
効果	広域化する圏域住民のニーズに適合する各施設の相互利用の増加とともに、効率的な施設整備が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
火葬場運営管理費	富良野市						
葬祭場管理費	上富良野町						
墓地・火葬場管理事業	中富良野町						
斎場運営管理費	南富良野町						
火葬場運営管理費	占冠村						

※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

II 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

1 地域公共交通

(1) 地域公共交通の確保

協定の内容	(取組の内容) 圏域住民の移動手段の確保と利便性の向上を図るため、バス路線の維持・確保や交通施設の整備、多様な交通手段の検討・実証・導入を行う。
	(甲の役割；富良野市) 乙と連携してバス路線の維持・確保と利用促進に取り組むとともに、デマンド交通等の多様な交通手段の検討・実証・導入や乙に必要な情報を提供する。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲と連携してバス路線の維持・確保と利用促進に取り組むとともに、公共交通を結ぶデマンド交通等の多様な交通手段の検討・実証・導入や甲の取組に対する情報提供と住民周知を図る。

ア 生活バス路線の維持・確保

事業内容	乗合バス事業者等への支援を通じ、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持・確保を図るとともに、多様な交通手段の検討・実証・導入を推進する。
効果	バス路線の維持・確保や多様な交通手段の検討・実証・導入によって、圏域住民の移動手段の確保と利便性の向上が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
市生活交通路線維持対策事業	富良野市						
広域生活交通路線維持対策事業	富良野市	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
デマンド交通運行事業	上富良野町						
生活バス路線維持・確保対策	上富良野町						
地域公共交通事業	中富良野町						
乗合自動車等運行管理事業	中富良野町						
デマンド交通運行事業	南富良野町						
村営バス運行事業	占冠村						
予約型乗合交通事業	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

2 デジタルディバイドの解消に向けたICTインフラ整備

(1) テレビ難視聴対策

協定の内容	(取組の内容) 地上デジタルテレビ放送の良好な視聴を維持・確保するため、放送事業者等が設置するテレビ中継局の整備及び維持を推進する。
	(甲の役割；富良野市) 乙及び関係町村と連携し、放送事業者等が設置するテレビ中継局の整備及び維持を図り、圏域内の良好な視聴環境の形成を推進する。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲及び関係町村と連携し、放送事業者等が設置するテレビ中継局の整備及び維持を図り、圏域内の良好な視聴環境の形成を推進する。

ア テレビ難視聴対策

事業内容	地上デジタルテレビ放送中継局の適切な維持及び整備を推進する。
効果	圏域住民の重要な情報収集手段である地上デジタルテレビ放送の地域間格差のない難視聴対策が図られる。
役割分担	各自自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
テレビ中継局(プラン局)の整備支援	富良野市						
テレビ中継局(プラン局)の整備支援	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
テレビ中継局(プラン局)の整備支援	中富良野町						
テレビ中継局(その他の中継局)の維持及び整備	富良野市						
テレビ中継局(その他の中継局)の維持及び整備	南富良野町						
テレビ中継局(その他の中継局)の維持及び整備	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

3 道路等の交通インフラの整備

(1) 交通ネットワークの形成

協定の内容	(取組の内容) 圏域内の利便性の向上や医療・経済等の圏域拡大に向け、効率的な交通ネットワークの形成に向けた取組を推進する。
	(甲の役割；富良野市) 乙及び関係市町村と連携して、地域高規格道路 旭川十勝道路や圏域市町村を結ぶ国道・道道などの幹線道路網の整備、JR根室本線・富良野線の利便性向上などの促進に向けた取組において、中心的な役割を推進する。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲及び関係市町村と連携して、圏域の効率的な交通ネットワークの形成に向けた取組を推進する。

ア 各種期成会活動の推進

事業内容	各種期成会活動を通じ、地域高規格道路旭川十勝道路や圏域市町村を結ぶ国道・道道などの幹線道路網の整備やJR根室本線・富良野線の利便性向上などを図る。
効果	幹線道路網の整備やJR根室本線・富良野線の利便性向上によって、圏域内外における交通の利便性向上が図られる。
役割分担	各自自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
旭川十勝道路整備促進期成会負担金	富良野市						
旭川十勝道路整備促進期成会負担金	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
旭川十勝道路整備促進期成会負担金	中富良野町						
旭川十勝道路整備促進期成会負担金	南富良野町						
旭川十勝道路整備促進期成会負担金	占冠村						
北海道道路整備促進協会負担金	富良野市						
北海道道路整備促進協会負担金	上富良野町						
北海道道路整備促進協会負担金	中富良野町						
北海道道路整備促進協会負担金	南富良野町						
北海道道路整備促進協会負担金	占冠村						
根室本線対策協議会負担金	富良野市						
根室本線対策協議会負担金	南富良野町						
根室本線対策協議会負担金	占冠村						
JR富良野線連絡会議負担金	富良野市						
JR富良野線連絡会議負担金	上富良野町						
JR富良野線連絡会議負担金	中富良野町						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

4 地域内外の住民との交流・移住促進

(1) 地域内外の住民との交流・移住促進

協定の内容	(取組の内容) 圏域内外の住民との交流を推進するとともに、国内外からの移住定住を促進するため、地域資源である自然景観・田園風景を活かした各種取組や関連施設の維持・整備を推進するとともに、圏域内の情報交換を促進する。
	(甲の役割；富良野市) 国内外からの移住定住や圏域内外の住民同士の交流を促進するとともに、関連施設の維持・整備を図る。また、圏域内の情報を収集し乙への情報提供と甲の住民への周知を図る。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 国内外からの移住定住や圏域内外の住民同士の交流を促進するとともに、関連施設の維持・整備を図る。また、甲及び関係町村が提供する情報を乙の住民に周知する。

ア 地域内外の住民との交流

事業内容	イベント等の開催を推進し、友好・姉妹都市をはじめ圏域内外の住民や国際交流を促進するとともに各市町村広報誌を活用した広域タウン情報「花人街道237」を掲載し、各市町村の魅力やイベント情報を圏域住民に提供する。
効果	各種イベントや交流事業の取り組みと合わせ、市町村相互の魅力やイベント情報の交換によって、交流人口の拡大が期待される。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
友好都市交流事業	富良野市						
国際交流事業	富良野市	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
国内交流事業	上富良野町						
国際交流事業	上富良野町						
国内交流事業	中富良野町						
国内交流事業	南富良野町						
国際交流事業	南富良野町						
国際交流事業	占冠村						
広域タウン情報「花人街道237」相互掲載	富良野市						
広域タウン情報「花人街道237」相互掲載	上富良野町						
広域タウン情報「花人街道237」相互掲載	中富良野町						
広域タウン情報「花人街道237」相互掲載	南富良野町						
広域タウン情報「花人街道237」相互掲載	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 移住・定住の促進

事業内容	北海道移住促進協議会等と連携し、プロモーション活動などにより、圏域内への移住を促進する。
効果	圏域の魅力発信とともに、圏域内への移住・定住が期待される。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
北海道移住促進協議会負担金	富良野市						
北海道移住促進協議会負担金	上富良野町						
北海道移住促進協議会負担金	中富良野町						
北海道移住促進協議会負担金	占冠村						
移住促進事業	富良野市						
定住・移住対策事業	上富良野町						
定住・移住対策事業	中富良野町						
移住対策事業	南富良野町						
移住・定住対策事業	占冠村						

※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

1 宣言中心市等における人材の育成

(1) 地域リーダー育成研修

協定の内容	(取組の内容) 地域に必要な人材を育成するため、地域・まちづくりのグループや人材の育成を図るとともに、圏域住民に対する学習機会や学習情報の提供、地域振興の取組を推進する。
	(甲の役割；富良野市) 地域に必要な人材を育成するため、圏域住民を対象とした講座や講演会等を開催し、乙と連携して地域福祉の向上、地域振興を促進させる取組を行う。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 地域に必要な人材を育成するため、甲及び関係町村と連携し、圏域住民を対象とした講座や講演会等を開催し、地域福祉の向上、地域振興を促進させる取組を行う。

ア 地域リーダー研修

事業内容	圏域住民を対象に、まちづくりに関する研修機会を提供するとともに、十勝岳の噴火や各種自然災害に対応しうる防災に関する研修を開催する。
効果	まちづくりに対する地域リーダーが育成されるとともに、防災意識の高揚と防災知識の習得による地域防災組織の形成・活性化が期待される。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
まちづくり講演会開催	富良野市						
まちづくり講演会開催	上富良野町						
防災講演会開催	富良野市						
防災講演会開催	上富良野町						
防災講演会開催	中富良野町						

※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

2 圏域内市町村職員等の交流

(1) 職員等の研修・交流

協 定 の 内 容	(取組の内容) 職員の資質向上と職員間のネットワークを強化するため、圏域職員を対象とする合同研修会を開催するとともに、職務・分野別などの研修と交流を促進する。
	(甲の役割；富良野市) 乙及び関係町村と連携して、圏域職員を対象とした合同研修会等に取り組みとともに、職務・分野ごとの研修と交流を促進し、圏域内ネットワークの形成を図る。
	(乙の役割；上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村) 甲及び関係町村と連携して、圏域職員を対象とした合同研修会等に取り組みとともに、職務・分野ごとの研修と交流を促進し、圏域内ネットワークの形成を図る。

ア 職員等の研修・交流

事業内容	職員の資質向上と職員間のネットワークを強化するため、圏域職員を対象とした合同研修会やセクションに応じた研修会を開催するとともに、市町村議会議員や市町村監査委員の合同研修会を開催する。
効果	圏域内における職員、議会議員及び監査委員の各種研修会の開催によって、職員の資質向上と各分野における圏域内のネットワーク形成が図られる。
役割分担	各自自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	地域づくり研修会開催支援金

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
職員研修事業	富良野市						
職員研修事業	上富良野町	※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載					
職員研修事業	中富良野町						
職員研修事業	南富良野町						
職員研修事業	占冠村						
富良野沿線市町村議長会負担金	富良野市						
富良野沿線市町村議長会負担金	上富良野町						
富良野沿線市町村議長会負担金	中富良野町						
富良野沿線市町村議長会負担金	南富良野町						
富良野沿線市町村議長会負担金	占冠村						
富良野地区監査委員協議会負担金	富良野市						
富良野地区監査委員協議会負担金	上富良野町						
富良野地区監査委員協議会負担金	中富良野町						
富良野地区監査委員協議会負担金	南富良野町						
富良野地区監査委員協議会負担金	占冠村						

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

イ 災害時の対応に向けた行政間ネットワークの構築

事業内容	災害時における行政間連携の対応方法を検討するため、課題の洗い出しや課題解決の方策などの構築を図る。
効果	災害時における行政間連携のスムーズな対応方法を構築することにより、行政間支援の迅速化が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

(単位：千円)

事業名	事業主体	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	総事業費
富良野圏域連携協議会負担金	富良野市						
富良野圏域連携協議会負担金	上富良野町						
富良野圏域連携協議会負担金	中富良野町						
富良野圏域連携協議会負担金	南富良野町						
富良野圏域連携協議会負担金	占冠村						

※事業費は、各市町村の予算が整理され次第、記載

※各事業については、平成31年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性がある。

※事業費が明確でないものについては、→で表記している。

3 基本目標と成果指標

I 生活機能の強化に係る政策分野

基本目標	合計特殊出生率の向上
------	------------

中心市及び圏域町村では、「まち・ひと・しごと創生法（H26.11）」に基づく、『地方人口ビジョン』と『地方版総合戦略』を作成しており、各自自治体における施策の実施による“合計特殊出生率の向上”をめざす。

1 医療

(1) 救急医療の維持・確保

成果指標	項目	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	地域センター病院における24時間365日の救急医療体制の維持	—	—

(2) 圏域医療体制の充実

成果指標	項目	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	地域センター病院の常勤医師数	19人 (平成30年4月)	21人 (平成35年度)

2 福祉

(1) 審査会業務の共同設置

成果指標	項目	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	介護認定審査会の実施回数	93回 (平成29年度)	100回 (平成35年度)

(2) 障がい者福祉の推進

成果指標	項目	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	相談支援体制の確保	—	—

(3) 子育て支援の連携

成果指標	項目	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	広域入所件数	29件 (平成29年度) 内訳：富→中富 7件 富→上富 2件 中富→富 15件 上富→富 5件	30件 (平成35年度)

3 教育

(1) 学校教育の充実

成果指標	項目	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	結核対策委員協議会の開催	1回 (平成29年度)	1回 (平成35年度)

(2) 図書館相互利用の促進

成果指標	項目	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	相互利用による利便性の確保	—	—

(3) 生涯学習の推進

成果指標	項目	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	スポーツフェスタ参加者数 ※資料：道北圏広域スポーツセンター協議会	213名 (平成29年度) 内訳：富良野開催 58名 上富良野開催 70名 中富良野開催 53名 南富良野開催 23名 占冠開催 9名	250名 (平成35年度)

4 産業振興

(1) 地域資源を生かした観光振興等

成果指標	項目	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	旅行消費額 ※資料：観光圏・顧客満足度調査	50,047円 (平成29年度)	66,000円 (平成34年度)

(2) 農業の振興

成果指標	項目	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	農作物作付面積 ※資料：富良野地区営農推進協議会	22,202.1ha (平成29年度)	22,202.1ha (平成35年度)

(3) 通年雇用の促進

成果指標	項目	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	季節雇用者の通年雇用人数 ※資料：富良野広域圏通年雇用促進協議会	15名 (平成29年度)	20名以上 (平成35年度)

5 その他

(1) 低炭素社会に向けた取組の推進

成果指標	項目	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	造林面積 ※資料：富良野地区森林組合 (森林経営計画)	—	159.45ha (平成 35 年度)

(2) 廃棄物の広域分担処理の推進

成果指標	項目	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	広域分担処理体制の維持	—	—

(3) 住民相談事業等の広域化

成果指標	項目	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	消費生活センターにおける相談体制の確保	—	—
	市民相談室における相談体制の確保	—	—

II 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

基本目標	圏域内全体での交通手段確保の継続
------	------------------

圏域住民の移動手手段の確保と利便性を図るため、地域公共交通の維持・確保をめざす。

1 地域公共交通

(1) 地域公共交通の確保

成果指標	項目	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	バス運行路線数の維持	16 路線 (平成 29 年度) 内訳：富良野市 5 路線 上富良野町 1 路線 中富良野町 6 路線 南富良野町 2 路線 占冠村 2 路線	16 路線 (平成 35 年度) 内訳：富良野市 5 路線 上富良野町 1 路線 中富良野町 6 路線 南富良野町 2 路線 占冠村 2 路線

2 デジタルディバイドの解消に向けた ICT インフラ整備

(1) テレビ難視聴対策

成果指標	項目	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	地上デジタルテレビ放送中継局の維持管理	—	—

3 道路等の交通インフラの整備

(1) 交通ネットワークの形成

成果指標	項目	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	地域高規格道路の整備促進	—	—

4 地域内外の住民との交流・移住促進

(1) 地域内外の住民との交流・移住促進

成果指標	項目	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	移住相談件数	125 件 (平成 29 年度) 内訳：富良野市 66 件 上富良野町 33 件 中富良野町 9 件 南富良野町 4 件 占冠村 13 件	175 件 (平成 35 年度) 内訳：富良野市 100 件 上富良野町 40 件 中富良野町 10 件 南富良野町 10 件 占冠村 15 件

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

基本目標	圏域内における人材育成機会の充実
------	------------------

圏域住民に対する学習機会や圏域内市町村職員を対象とする研修機会等の充実をめざす。

1 宣言中心市等における人材の育成

(1) 地域リーダー育成研修

	項目	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
成果指標	まちづくり講演会・防災講演会の開催	8回 (平成29年度)	7回 (平成35年度)
		内訳：富良野市 2回 上富良野町 2回 中富良野町 1回 南富良野町 1回 占冠村 2回	内訳：富良野市 2回 上富良野町 2回 中富良野町 1回 南富良野町 1回 占冠村 1回

2 圏域内市町村職員等の交流

(1) 職員等の研修・交流

	項目	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
成果指標	職員研修の実施回数	71回 (平成29年度)	73回 (平成35年度)
		内訳：富良野市 24回 上富良野町 11回 中富良野町 22回 南富良野町 13回 占冠村 1回	内訳：富良野市 20回 上富良野町 10回 中富良野町 25回 南富良野町 15回 占冠村 3回

資 料

- I) 富良野地区定住自立圏共生ビジョン策定経過
- II) 富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱
- III) 富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

(設置)

第1条 富良野市は、定住自立圏形成協定により形成された富良野地区の将来像及び当該協定に基づき推進する具体的な取組内容等を記載する定住自立圏共生ビジョンの策定に関して、関係者等の意見を反映するため、富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(職務)

第2条 懇談会は、富良野地区定住自立圏共生ビジョンの策定又は変更に関する事項について検討を行う。

(組織)

第3条 懇談会は、委員18人以内をもって組織する。

2 委員は、定住自立圏形成協定に関連する分野の関係者等の中から、市長が依頼する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(座長及び副座長)

第5条 懇談会に、座長及び副座長を各1人置く。

2 座長は委員の互選により定め、副座長は座長が指名する委員をもって充てる。

3 座長は、会務を総括する。

4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会の会議は、座長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

3 座長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(事務局)

第7条 懇談会の事務局は、富良野市総務部企画振興課に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に必要な事項は、座長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成26年1月20日から施行する。

2 この要綱の施行後、最初に依頼される富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会の委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成27年3月31日までとする。

富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

(任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

市町村名	団 体 名	職 名	氏 名	分 野
上富良野町	ふらの農業協同組合	北地区 運営委員長	富 田 成 一	産業振興 (農 業)
	かみふらの十勝岳観光協会	会 長	青 野 範 子	産業振興 (観 光)
	上富良野町社会福祉協議会	事務局長	角 波 光 一	福 祉
中富良野町	なかふらの観光協会	会 長	日 向 猛	産業振興 (観 光)
	中富良野町立病院運営委員会	委員長	安 藤 まゆみ	医 療
南富良野町	南富良野町社会福祉協議会	会 長	森 敏 範	福 祉
占 冠 村	占冠村商工会	経営指導員	小 倉 睦	産業振興 (商工業)
富 良 野 市	富良野市医師会	会 長	小山内 裕 昭	医 療
	富良野地域センター病院運営委員会	事務部長	細 谷 義 美	医 療
	エクウエート富良野	事務局長	久 田 茂	福 祉
	ふらの体育協会	専務理事	遠 藤 和 章	教 育
	ふらの観光協会	事務局長	石 川 芳	産業振興 (観 光)
	ふらの農業協同組合	常務理事	武 田 達 樹	産業振興 (農 業)
	富良野地域人材開発センター運営協会	専務理事	原 正 明	産業振興 (人材育成)
	ふらの市民環境会議	代 表	家 次 敬 介	森林・環境
	ふらびズム協議会	会 長	丸 山 一 敏	移 住

(敬称略)